

【令和 7 年度 南信州圏域市町村職員採用共同試験 行政保健師】

各自治体の紹介

自治体名	市町村紹介	求める職員像	行政保健師の主な業務
いいだし 飯田市	飯田市は日本の中央、長野県の最南端に位置し、東に南アルプス、西に中央アルプスがそびえ、南北に天竜川が貫く日本一の谷地形が広がり、豊かな自然と優れた景観、四季の変化に富み、動植物の南北限という気候風土に恵まれています。 「飯田」の地名は「結いの田」が語源となっており、伝統産業である「水引」に代表される「結び」に縁のある土地柄です。 行政、企業、市民で「結いの力」を発揮し、リニア時代を見据えた 21 世紀型の戦略的地域づくりを進め、それらにより人材サイクルの大きなうねりをつくり出して、豊かなライフスタイルを実現できる持続可能な地域経営を目指しています。豊かなライフスタイルを実現できる持続可能な地域経営を目指しています。	私たちの先輩は、豊かな発想と大胆な行動により、いつの時代も全国の地方都市に先駆けた取組を展開し、特徴あるまちづくりを進めてきました。時代の混迷に怯むことなく、毅然として課題解決にあたり、新たなまちづくりを進めなければなりません。 リニア開通後の大交流時代を見据えた飯田市総合計画「いいだ未来デザイン 2028」の実現に向けて、「飯田市人財育成基本方針」において目指す職場～尊重・信頼・共感 全員でつくる『チーム飯田市役所』～を目指し、「結いの心」と「やわらかな発想」を持った職員を募集します。	・母子保健、成人保健及び高齢者保健に関すること ・市民の健康づくりに関すること ・精神保健、歯科保健、食生活改善活動に関すること ・地域における健康福祉の組織に関すること 市内 20 地区の地区担当制で業務を行っています。(保健師 1 ～ 2 名地区駐在) 異動により一般行政業務(事務職)を行う場合があります。
あちむら 阿智村	阿智村は長野県の南端、下伊那郡の西南に位置しています。村内には 5000 本の花桃が咲く「花桃の里」や日本一の星空に認定された地域や、強アルカリ性で化粧水のような泉質が楽しめる昼神温泉等の多くの観光施設があります。 「暮らす、生きる、阿智家族」をテーマに住民一人ひとりの人生の質を高められる、持続可能な村づくりを行っています。	子どもから高齢者まで幅広い世代の健康増進、予防事業など各世代が抱える課題を地域、社会との関りを合わせて考えることができ、マネジメント能力とコミュニケーション能力を発揮して、現場へ飛び出していける職員を求めます。	・母子保健、成人保健及び高齢者保健に関すること ・健康づくりに関すること ・精神保健、歯科保健に関すること ・高齢者福祉、障がい者福祉に関すること

ひらやむら 平谷村	私たちの村 平谷村は、人口 380 人の長野県で最小の自治体で、最南端に位置し、標高 900m以上の高原の村です。 中京圏に隣接する地理的条件と高原特有の気候を活かして、トウモロコシなど高原野菜の作付けやスキー場・温泉施設など観光施設があり、年間を通して多くの観光客が訪れています。 「地域住民などを『守る』、子どもを村の宝として『育てよう』、地元の人移住してきた人も『みんなの力で』をキャッチフレーズに、持続可能な地域づくり、人口 400 人を目標」に、人と人とのつながりを実感できる地域づくりを進めています。	人口が少ない本村だからこそできる「顔がわかる関係」と専門性を活かしながら、幅広い年代層の健康づくり、予防活動に意欲をもって取り組んでいただけの職員を求めています。	・母子保健 ・がん検診等 ・特定健診、特定保健指導 ・健康増進事業 ・予防接種 ・歯科保健 ・介護保険、予防事業 ・地域包括支援センター管理者
うるぎむら 売木村	売木村は長野県の南端に位置しており、一番近い中心市の飯田市までは車で50分、名古屋市までは120分の距離にあり、売木村を訪れる人の多くが愛知県や静岡県からとなっています。 「人が訪れる村、訪れたくなる村」を掲げて移住定住、ランナーの合宿などの受け入れに力を入れてきました。人口 500 人に満たない小さな村です。高齢者率は 44%とお年寄りがちょっぴり多い村ですが、I ターンによる移住者が人口の 3 割を超える村となっています。	住民一人一人の顔が見えるため、子どもからお年寄りまで幅広い世代の住民の健康管理、予防活動に意欲を持って臨む職員を求めています。 「人は丸くて田は四角」売木盆踊りの一節です。一緒に楽しく仕事をしましょう。	・乳幼児から高齢者までの保健衛生、保健予防、保健事業の業務全般

てんりゅうむら 天龍村	天龍村は、長野県の南の端にあり、愛知県、静岡県との3県境に位置しています。冷涼な長野県の中でも温暖な気候で、県内でも最も早く梅や桜が咲くことから、「信州に春を告げる村」をキャッチフレーズとしています。 村の人口は約 1,000 人余りで、高齢化率は 60%を超え、長野県で最も高く、全国でも屈指となっており、少子高齢化が進む中で、村民が安心して暮らすことができる体制づくりが喫緊の課題となっています。	左記の様な状況下、保健師には、妊婦・乳幼児から高齢者まで、幅広い年代の保健業務を担当いただく中で、村民が健康で豊かな生活ができるよう、他の職員と協力をして業務にあたっていただける方を求めています。	母子保健、成人・高齢者医療、介護予防事業、精神保健事業
おおしかむら 大鹿村	本村は、長野県下伊那郡の北東部に位置し、伊那市、駒ヶ根市、上伊那郡中川村、下伊那郡松川町、豊丘村、飯田市、静岡県静岡市の7市町村に囲まれた、人口 850 人ほどの村です。 東には南アルプス 3,000 メートル級の山々がそびえ立ち、西は伊那山脈に隔てられた農耕地の少ない典型的な山村です。 約 300 年の伝統を持つ大鹿歌舞伎は国の重要文化財に指定されています。 村の中央部を中央構造線が南北に縦断していることで、地質学的にも知られています。 また、山野の植物資源も日本の宝庫といわれるほど豊富です。	村民一人ひとりの心身の状態に応じた健康づくりを推進するためのサポートをいただける意欲ある方の応募をお待ちしています。	・母子保健（妊婦・幼児訪問、乳幼児健診等） ・成人保健（健康診断、保健指導） ・がん検診等 ・予防接種 ・精神保健、歯科保健事業 ・介護予防事業 ※保健衛生関係と地域包括支援センターで業務を行っており、保健師同士は常に情報共有しています。